

第40回シアター公演

民俗芸能を担う若者たち

—嵯峨大念佛狂言の若手育成—

嵯峨狂言、教えてくれる？

おお、
ほな教えたらう（嬉）

令和元年

6.2日 sun

開場 13:30
開演 14:00

佛教大学宗教文化ミュージアム
宗教文化シアター

観覧無料・要事前申込 お申し込み方法は裏面をご覧ください

第一部 嵯峨狂言クラブ「橋弁慶」

第二部 嵯峨大念佛狂言「釈迦如来」

保存会によるワークショップ

解説

八木 透（本学歴史学部教授・当館研究協力者）
芳野 明氏（嵯峨美術大学教授・嵯峨大念佛狂言保存会）



佛教大学宗教文化ミュージアム

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26 ☎ (075) 873-3115

関連
展示

「嵯峨大念佛狂言へのいざない」
5/25～6/30 当ミュージアム 第二展示室にて展示中

第40回 シアター公演

民俗芸能を担う若者たち — 嵯峨大念佛狂言の若手育成 —

いま、日本各地に伝承されてきた民俗芸能や伝統行事が、地域の再開発や、少子高齢化等の要因によって担い手が不足し、継続の実施が難しくなり、日本各地で無形民俗文化財の継続・伝承のあり方や後継者育成をめぐる問題が顕著化しています。当館では、この問題と各団体での取り組みをシアター公演の柱のひとつに位置づけ、「民俗芸能のネクストジェネレーションズ」としてシリーズ化し、公演やシンポジウムなどを通じて広く紹介していくこととしました。

シリーズ第1回となる第40回シアター公演では、1960年代に一度中断し、保存会を結成し復活され、嵯峨狂言クラブでの次世代を担う若手育成にも取り組んでおられる嵯峨大念佛狂言保存会を招聘し、地域の長い歴史のなかで何代にもわたって受け継がれてきた信仰心と芸体を継承し、民俗芸能の次代を担う若者（子どもたち）にスポットをあてて紹介します。

◆嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨の釈迦堂の名で親しまれている古刹・清凉寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は、国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面を着け、セリフがなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏をひろめた円覚上人導御の創始とされています。資料から見ても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529年])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

定期公演は3月15日のお松明公演・4月第一日曜・第二土曜、日曜の春季公演・10月第三日曜の秋季公演となっており、国内外での出張公演も多数行われています。

嵯峨大念佛狂言保存会 www.sagakyogen.info

プログラム

14:00 開演

第一部

解説 八木 透

映像上映「嵯峨大念佛狂言の若手育成」

「橋弁慶」嵯峨狂言クラブ

休憩(10分)

第二部

解説 芳野 明氏

大念佛狂言ワークショップ

「釈迦如来」嵯峨大念佛狂言保存会

質疑応答

16:50 閉演予定

演 目

次代を担う嵯峨狂言クラブの子どもたちが
日頃の成果を披露します。

カタモン

橋弁慶

はしべんけい



牛若 弁慶 太刀持

牛若丸は五条の橋のたもとで笛を吹きながら、通行人に扮れている浪人を切り捨て立ち去る。弁慶は供を従え、五条天神にお参りにやって来る。牛若丸が通行人を斬り捨てているところへ弁慶が供と通りかかる。ふたりは太刀打ちとなるが・・・。

嵯峨大念佛狂言だけに伝わる演目を
面白おかしく演技します。

ヤワラカモン

釈迦如来

しゃかにょらい



釈迦 寺侍 坊主 母親 娘

坊主と寺侍はお釈迦様を本堂に据えると、母親と娘がお釈迦様を拝みに来る。母親がお参りをすると喜んで「ガッテン、ガッテン」と動くが、娘がお参りすると後ろを向いてしまう。ふたりは、母親に向きを変えてもらうように頼むが、お釈迦様と母親は肩を組み帰ってしまう。慌てた坊主は自分がお釈迦様になりますとみるみる・・・。

2019. 6. 2 (日) 佛教大学宗教文化ミュージアム

シアター公演鑑賞申し込み方法

シアター公演の鑑賞は、下記のいずれかの方法にて申し込みできます。

申し込みにあたり、「氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・人数・希望公演名(民俗芸能を担う若者たち)」の明記が必要です。

① ミュージアム専用 Web サイト www.bukkyo-uac.jp/facilities/museum/

② ハガキ(往復ハガキは不要)

③ FAX 075-873-3121



申し込みの受付は、開催日前の5月7日(火)より開始し、先着130名とさせていただきます。鑑賞券の発送を以て申し込み確定となります。開催日の一週間前までに鑑賞券が届かなかった場合には、お手数ですが当館までご連絡下さい。



佛教大学宗教文化ミュージアム

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26 ☎ (075) 873-3115

